

I 岐阜県農業の概要

岐阜県農業の特色

岐阜県農業は、海拔 0m の平野部から標高 3,000m を超える山岳地帯まで起伏に富んだ自然条件と日本のほぼ中央に位置するなど、大消費地に比較的近い立地条件を生かして多彩に営まれています。とりわけ、美濃から飛騨にかけて多種多様な作物が周年にわたって栽培され、いつでも新鮮な農産物が供給できるということが特長となっており、主な銘柄品は水稻「ハツシモ」をはじめ、「富有柿」、「飛騨牛」など数多くあります。

岐阜、西濃地域では、トマト、いちご、きゅうり等の施設野菜や、ほうれんそう、えだまめ、だいこん、にんじん等の露地野菜、かき、なし等の果樹、切りバラや鉢物等の花きが栽培されているほか、稲、麦、大豆の土地利用型作物が南西部において盛んに作付けされています。また、中濃、東濃地域では、夏秋トマト、夏だいこん、くり、花きの栽培や有機農業のほか、豚や鶏の中小家畜生産と酪農が行われています。

飛騨地域の農業は、夏期の冷涼な気候を生かして夏秋トマト、夏ほうれんそうなどの野菜類、もも、りんごなどの果樹、夏ぎく等の花きの栽培、広大な山地を利用した肉用牛の生産、酪農が行われています。

また、水産業では、アユやマス類を中心とした河川漁業や養殖漁業が中心となっています。



岐阜県農業の主要指標

区 分	単位	岐 阜 県				全 国		令. 6／平. 26		対全国比		資 料
		平. 26	全国 順位	令. 6	全国 順位	平. 26	令. 6	岐阜県	全国	平. 26	令. 6	
総 面 積	km ²	10,621	7	10,621	7	377,972	377,975	100.0	100.0	2.81	2.81	国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(10月1日時点)」
総 人 口	千人	2,041	17 ☆	1,931	17	127,083 ☆	124,352	94.6	97.9	1.61	1.55	総務省統計局「人口推計(令和5年10月1日現在)」
基 幹 的 農 業 従 事 者	人 *	35,452	26 ○	21,064	28 *	2,051,437 ○	1,363,038	59.4	66.4	1.73	1.55	農林水産省「2020年 農林業センサス(農 林業経営体調査)」 ＜R3.4.27確報＞
総 農 家 数	戸 *	70,770	12 ○	48,936	11 *	2,527,948 ○	1,747,079	69.1	69.1	2.80	2.80	
販売農家	戸 *	36,345	21 ○	19,924	24 *	1,631,206 ○	1,027,892	54.8	63.0	2.23	1.94	
主 業 家	戸 *	3,105	35 ○	1,999	32 *	359,720 ○	230,855	64.4	64.2	0.86	0.87	
準主業家	戸 *	7,227	22 ○	2,326	25 *	388,883 ○	142,538	32.2	36.7	1.86	1.63	
副業の家	戸 *	26,013	9 ○	15,854	17 *	882,603 ○	663,949	60.9	75.2	2.95	2.39	
農 業 経営体数	経営体 *	37,287	21 ○	21,015	24 *	1,679,084 ○	1,075,705	56.4	64.1	2.22	1.95	
個 人 経営体数	経営体 *	36,517	21 ○	20,179	24 *	1,643,518 ○	1,037,342	55.3	63.1	2.22	1.95	
団 体 経営体数	経営体 *	770	20 ○	836	29 *	35,566 ○	38,363	108.6	107.9	2.16	2.18	
法人経営体数	経営体 *	473	16 ○	675	18 *	21,627 ○	30,707	142.7	142	2.187	2.20	
耕 地 面 積	ha	57,200	25	53,900	25	4,518,000	4,272,000	94.2	94.6	1.27	1.26	農林水産省「令和6 年耕地面積(7月15 日現在)」
田 面 積	ha	43,900	20	41,200	21	2,458,000	2,319,000	93.8	94.3	1.79	1.78	
畑 面 積	ha	13,300	31	12,700	30	2,060,000	1,952,000	95.5	94.8	0.65	0.65	
一戸当たり平均 耕 地 面 積	a	80.8	－	110.1	－	178.7	244.5	136.3	136.8	45.2	45.0	農林水産省「2020年 農林業センサス(農 林業経営体調査)」、 「令和6年耕地面積」
農 業 産 出 額	億円	1,099	27 ☆	1,263	28	84,279 ☆	95,579	114.9	113.4	1.30	1.32	農林水産省「令和5 年農業産出額及び 生産農業所得(都道 府県別)」
耕 種	億円	666	31 ☆	757	31	53,807 ☆	57,345	113.7	106.6	1.24	1.32	
畜 産	億円	432	21 ☆	504	21	29,912 ☆	37,721	116.7	126.1	1.44	1.34	
加 農 産 工 物	億円	1	26 ☆	2	20	559 ☆	513	200.0	91.8	0.18	0.39	
生産農業所得	億円	336	30 ☆	455	26	27,965 ☆	33,421	135.4	119.5	1.20	1.36	
内 水 面 漁 業 河 川 漁 獲 量	t	399	12 ☆	346	6	34,227 ☆	21,565	86.7	63.0	1.17	1.60	農林水産省「令和5 年漁業・養殖業生産 統計」 ※R6.5.31第1報
内 水 面 漁 業 養 殖 生 産 量	t	1,396	6 ☆	1,241	6	39,018 ☆	30,299	88.9	77.7	3.58	4.10	

〔注〕「＊」は平成22年データ、「○」は令和2年データ、「☆」は令和5年データです。

〔注〕「主業農家」「準主業農家」「副業的農家」の戸数は、2020年農林業センサスから「農業経営体数」の内訳となりましたので、合計値が総農家数の内訳である販売農家と一致しません。

〔注〕農業産出額のうち、全国値は農業総産出額であるため、都道府県別の農業産出額の合計と一致しません。

岐阜県農業の全国における位置等

区 分		1 位	2 位	3 位	全 国	岐 阜 県			単位	年次	資 料
						全 順	国 位	中部9県 順位 数 量 等			
総 面 積		北海道	岩手	福島	377,975	7位	2位	10,621	km ²	R6	国土地理院「令和6年全国都道府県市区町村別面積調(10月1日時点)」
年 間 日 照 時 間		山梨	高知	群馬	1,916	7位	3位	2,109	時間	H3～R2	気象庁「平年値(1991～2020年)」(日照時間)
総 人 口		東京	神奈川	大阪	124,352	17位	4位	1,931	千人	R5	総務省統計局「人口推計(令和5年10月1日現在)」
総 農 家 数		長野	茨城	兵庫	1,747,079	11位	4位	48,936	戸	R2	農林水産省「2020年農林業センサス(農林業経営体調査)」< R3.4.27確報 >
基幹的農業従事者		北海道	茨城	長野	1,363,038	28位	4位	21,064	人	R2	
耕 地 面 積		北海道	新潟	茨城	4,272,000	25位	6位	53,900	ha	R6	農林水産省「令和6年耕地面積(7月15日現在)」
農 業 産 出 額		北海道	鹿児島	茨城	95,579	28位	4位	1,263	億円	R5	農林水産省「令和5年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
農 作 物 収 穫 量 等	水 稲	新潟	北海道	秋田	7,345,000	26位	8位	101,900	t	R6	農林水産省「令和6年産水陸稲の収穫量(内、水稲)」
	小 麦	北海道	福岡	佐賀	1,023,000	11位	4位	10,900	t	R6	農林水産省「令和6年産麦類(子実用)の作付面積、10a当たり収量及び収穫量(内、小麦)」
	大 豆	北海道	宮城	佐賀	260,800	16位	5位	3,820	t	R5	農林水産省「令和5年産豆類及びそばの収穫量(内、大豆)」
	だ い こ ん	千葉	北海道	青森	1,141,000	16位	2位	21,200	t	R5	農林水産省「令和5年産野菜生産出荷統計」
	に ん じ ん	北海道	千葉	徳島	567,000	12位	2位	5,250	t	R5	
	き ゆ う り	宮崎	群馬	埼玉	530,200	25位	3位	5,770	t	R5	
	ほうれんそう	群馬	埼玉	千葉	206,800	6位	1位	10,700	t	R5	
	ト マ ト	熊本	北海道	愛知	681,400	7位	2位	28,400	t	R5	
	え だ ま め	北海道	群馬	千葉	62,000	14位	1位	947	t	R5	農林水産省「令和5年産果樹生産出荷統計」
	い ち ご	栃木	福岡	熊本	161,800	11位	3位	3,760	t	R5	
	か き	和歌山	奈良	福岡	186,300	4位	1位	12,100	t	R5	
	く り	茨城	熊本	愛媛	15,000	4位	1位	774	t	R5	
	花 き 出 荷 量 (鉢 物 類)	愛知	埼玉	静岡	175,400	4位	2位	11,100	千鉢	R5	農林水産省「令和5年産花き生産出荷統計」
	茶(荒茶生産量)	静岡	鹿児島	三重	75,200	-	-	-	t	R5	農林水産省「令和5年産茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量」
	収 蒔 量	群馬	栃木	福島	45	12位	2位	0.3	t	R5	(一財)大日本蚕糸会「シルクレポート2024年4月号No.81」
畜産飼養頭羽数	乳 用 牛	北海道	栃木	熊本	1,313,000	28位	5位	5,060	頭	R6	農林水産省「畜産統計(令和6年2月1日現在)」
	肉 用 牛	北海道	鹿児島	宮崎	2,672,000	21位	2位	34,000	頭	R6	
	豚	鹿児島	北海道	宮崎	8,798,000	24位	4位	91,300	頭	R6	
	採 卵 鶏 (成 鶏 め す)	千葉	茨城	岡山	129,729	12位	3位	4,542	千羽	R6	
羽出数荷	肉 用 若 鶏	鹿児島	宮崎	岩手	731,929	24位	3位	3,915	千羽	R6	
水産	あ ゆ 漁 獲 量	茨城	栃木	滋賀	1,695	4位	2位	242	t	R5	農林水産省「令和5年漁業・養殖業生産統計」 ※第1報
	あ 養 殖 収 穫 量 ゆ	岐阜	愛知	和歌山	3,387	1位	1位	900	t	R5	
	ま す 類 養 殖 収 穫 量	静岡	長野	山梨	6,802	6位	3位	340	t	R5	

〔注〕 中部9県とは、長野、静岡、富山、福井、石川、岐阜、愛知、三重、滋賀県をいいます。

〔注〕 農業産出額のうち、全国値は農業総産出額であるため、都道府県別の農業産出額の合計と一致しません。

〔注〕 県の農作物収穫量等のうち、令和3年度の茶は主産県以外の調査データがありません。

県内産業のなかの農業

○農業は県内総生産の 0.65%、533 億円

令和 4 年度の県内総生産（名目）は 8 兆 2,252 億円で、前年度に比べ 3.2%増加しました。このうち農業は 533 億円で、前年度に比べ 2.6%増加、水産業は 19 億円で 2.9%増加し、農業及び水産業の第 1 次産業に占める割合は 86.7%となっています。

産業別 県内総生産（名目）

（単位：百万円）

年度	令和元年度	構成比	令和 2 年度	構成比	令和 3 年度	構成比	令和 4 年度	構成比	対前年度
第 1 次産業	61,638	0.78%	62,861	0.82%	61,928	0.78%	63,684	0.77%	1,756
うち農業	51,101	0.65%	53,041	0.69%	51,936	0.65%	53,285	0.65%	1,349
うち水産業	2,187	0.03%	1,951	0.03%	1,877	0.02%	1,931	0.02%	54
第 2 次産業	2,659,535	33.6%	2,716,881	35.4%	2,934,877	36.8%	2,998,902	36.5%	64,025
第 3 次産業	5,162,152	65.3%	4,878,984	63.5%	4,920,740	61.8%	5,091,418	61.9%	170,678
県内総生（名目）	7,905,679	100%	7,678,778	100%	7,966,842	100%	8,225,187	100%	258,345

県統計課「令和 4 年度県民経済計算」

※県内総生産…県内各経済部門によって新たに生み出された価値の総額

※第 1 次～第 3 次産業の合計は、「輸入品に課される税・関税」「総資本形成に係る消費税」が加算・控除前のため、県内総生産とは一致しません。

○第 1 次産業は県内純生産の 0.79%、444 億円

令和 4 年度の県内純生産（要素所得）は 5 兆 5,951 億円で前年度に比べ 2.3%増加しました。このうち、第 1 次産業は 444 億円で前年度に比べ 0.58%減少しました。

産業別 県内純生産（要素所得）

（単位：百万円）

年度	令和元年度	構成比	令和 2 年度	構成比	令和 3 年度	構成比	令和 4 年度	構成比	対前年度
第 1 次産業	42,912	0.77%	43,561	0.83%	44,694	0.82%	44,434	0.79%	△ 260
第 2 次産業	1,729,376	31.0%	1,704,019	32.3%	1,899,965	34.7%	1,918,073	34.3%	18,108
第 3 次産業	3,798,040	68.2%	3,524,954	66.9%	3,525,356	64.4%	3,632,637	64.9%	107,281
県内純生産（要素所得）	5,570,326	100%	5,272,533	100%	5,470,016	100%	5,595,145	100%	125,129

県統計課「令和 4 年度県民経済計算」

※県内純生産（要素所得）…県内総生産から固定資本減耗と生産・輸入品に課される税を控除し、補助金を加えたもの

○農業は県内の就業者総数の 2.7%、2 万 7,227 人

令和 4 年度の県内の就業者総数（就業地ベース）は 100 万 1,747 人で、前年度に比べ 0.14%増加しました。このうち、農業は 2 万 7,227 人で前年度に比べ 2.0%減少、水産業は 221 人で 1.3%減少しました。

産業別 就業者数（就業地ベース）

（単位：人）

年度	令和元年度	構成比	令和 2 年度	構成比	令和 3 年度	構成比	令和 4 年度	構成比	対前年度
第 1 次産業	31,022	3.1%	30,497	3.1%	29,972	3.0%	29,405	2.9%	△ 567
うち農業	28,788	2.9%	28,277	2.8%	27,774	2.8%	27,227	2.7%	△ 547
うち水産業	231	0.02%	228	0.02%	224	0.02%	221	0.02%	△ 3
第 2 次産業	323,600	32.3%	321,410	32.2%	322,267	32.2%	323,120	32.3%	853
第 3 次産業	648,690	64.7%	646,870	64.8%	648,089	64.8%	649,222	64.8%	1,133
合計	1,003,313	100%	998,778	100%	1,000,329	100%	1,001,747	100%	1,418

県統計課「令和 4 年度県民経済計算」

（注）「令和 4 年度県民経済計算」の数値は、推計の基準年の変更や最新の国際基準への対応などにより、過去に遡り、大幅に値が変更されています。

（注）構成比が 1%を下回る項目は、小数第 2 位まで記載しています。

（注）四捨五入により合計が一致しないことがあります。

基幹的農業従事者・総農家数

○基幹的農業従事者は2万1,064人

令和2年の基幹的農業従事者は2万1,064人で、65歳以上が占める割合が8割を超え、また女性の割合が約4割となっています。

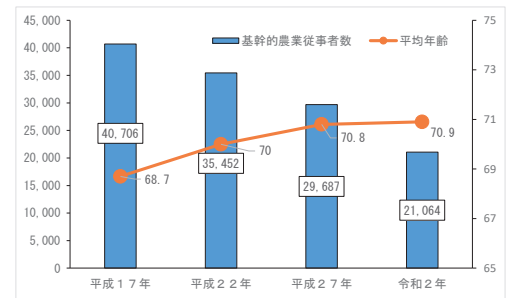
また、基幹的農業従事者の平均年齢は70.9歳で、5年前の前回調査時に比べ0.1歳増えました。

(単位：人、%)

項 目	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
基幹的農業従事者	40,706	35,452	29,687	21,064
うち 65 歳以上	29,489	26,422	23,025	16,896
割合	72.4%	74.5%	77.6%	80.2%
男性	21,638	19,899	17,170	12,986
女性	19,068	15,553	12,517	8,078
女性が占める割合	46.8%	43.9%	42.2%	38.3%

農林水産省「2020年農林業センサス」

基幹的農業従事者と平均年齢



○総農家数は4万8,936戸、販売農家数は1万9,924戸

令和2年の総農家数は4万8,936戸で、前回調査時の平成27年に比べ19.5%減少しました。また、販売農家は1万9,924戸で、平成27年に比べ30.1%減少しました。

(単位：戸)

項 目	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	構成比	構成比 (全国)	説 明
総農家数	78,459	70,770	60,790	48,936	100%	100%	経営耕地面積が10a以上または農産物販売金額が年間15万円以上の世帯
販売農家	44,815	36,345	28,511	19,924	40.7%	58.8%	経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の世帯
自給的農家	33,644	34,425	32,279	29,012	59.3%	41.2%	販売農家以外の農家

農林水産省「2020年農林業センサス」

(参考)

(単位：戸)

項目	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総世帯数	680,317	713,452	737,151	753,212	775,819
うち農家が占める割合	12.5%	11.0%	9.6%	8.1%	6.3%

県統計課「岐阜県人口動態統計調査結果」・農林水産省「2020年農林業センサス」

○農産物販売金額が１億円を超える経営体（販売農家）は 133 経営体

令和２年の販売農家のうち農産物販売金額が１億円を超える経営体は 133 経営体で、平成 27 年と比べ、14 経営体増加しました。

販売農家の規模別の内訳を見ると、販売金額が 50 万円以上 100 万円未満の経営体が最も多く、全体の 36.3%を占めています。

また、平成 12 年から令和 2 年にかけて、販売金額が 1000 万円以上の経営体の割合は年々増加しています。

農産物販売金額規模別経営体数

(単位：経営体)

	計	50～ 100 万円	100～ 500 万円	500～ 1,000 万円	1,000～ 5,000 万円	5,000 万～ 1 億円	1 億円以上
平成 12 年	16,655	8,086	5,443	1,445	1,681※	—	—
割合 (%)	100	48.5	32.7	8.7	10.1	—	—
平成 17 年	13,737	6,215	4,821	1,141	1,400	117	43
割合 (%)	100	45.2	35.1	8.3	10.2	0.9	0.3
平成 22 年	10,586	4,250	3,831	988	1,260	158	99
割合 (%)	100	40.1	36.2	9.3	11.9	1.5	0.9
平成 27 年	8,595	3,175	3,098	855	1,186	162	119
割合 (%)	100	36.9	36.0	9.9	13.8	1.9	1.4
令和 2 年	7,776	2,826	2,734	788	1,135	160	133
割合 (%)	100	36.3	35.2	10.1	14.6	2.1	1.7

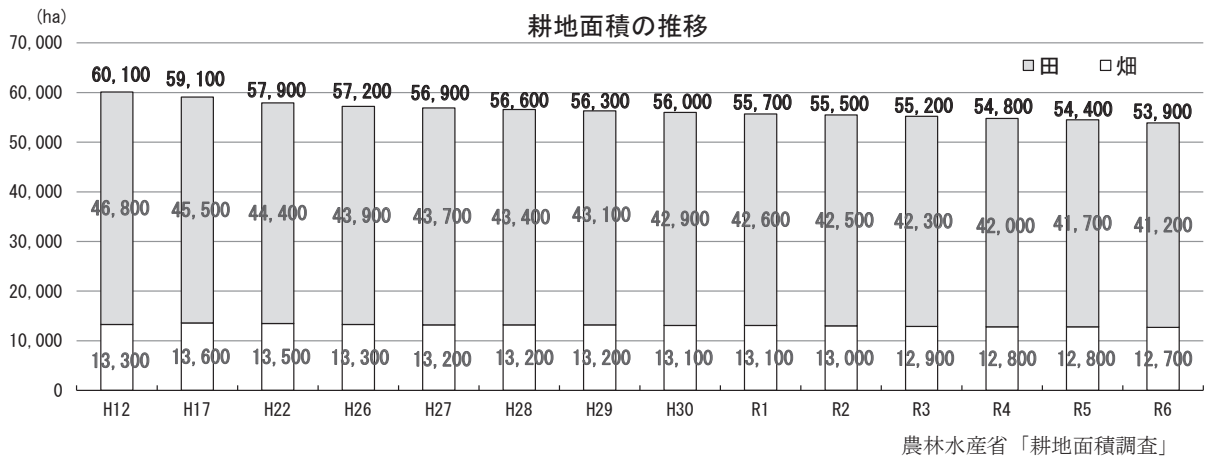
農林水産省「2020 年農林業センサス」

※平成 12 年に実施された「2000 年世界農林業センサス」では販売金額が 3,000 万円以上の経営体数は一括りで集計。

農 地

○耕地面積は5万3,900ha、耕地利用率は86.0%

令和6年の耕地面積は5万3,900haで、前年に比べ500ha減少しました。また、令和5年の農作物作付延べ（栽培）面積は、4万6,800haで、前年に比べ100ha減少しました。主なものとして、麦類が110ha、大豆が90ha増加しましたが、その他作物が300ha減少しました。耕地利用率は、前年に比べ0.4ポイント増加し86.0%でした。



○農業振興地域は16万7ha、うち農用地区域は5万981ha

令和5年12月現在の農業振興地域の面積は16万7haで、このうち農用地等として利用する農用地区域面積は5万981haです。

農業振興地域制度の管理面積（令和5年12月現在）

（単位：ha）

項目	農用地計					混牧林地	農業用施設用地	混牧林地以外の山林	その他	合計
	田	畑	樹園地	採草放牧地						
農業振興地域	58,398	41,503	9,598	4,732	2,565	2,473	541	24,758	73,837	160,007
農用地区域	45,975	35,322	5,016	3,284	2,354	1,808	504	2,542	151	50,981

（注）四捨五入により合計が一致しないことがあります。

県農村振興課調べ

○中山間地域の直接支払制度による令和6年度の農地保全面積は9,217ha

中山間地域など農業生産条件が不利な地域において、5年以上農業を続けることを約束した集落や農業者に対して交付金を交付することにより、遊休農地の発生防止を図っています。

（単位：ha）

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6(見込)
実施市町村数	24	24	24	24	25	25	25	25	25	25
協定数	870	883	886	888	888	853	859	863	868	871
交付対象面積(ha)	8,951	9,040	9,094	9,118	9,134	9,023	9,094	9,135	9,169	9,217
交付金額(百万円)	1,233	1,243	1,256	1,259	1,265	1,290	1,306	1,321	1,322	1,329
対策期間	第4期					第5期				

県農村振興課調べ

○遊休農地面積は775ha

農地法に基づく遊休農地に関する措置（農地の利用状況の調査、遊休農地の所有者等に対する意向調査）等により、遊休農地の発生を防止し、解消・有効利用を図っています。

（単位：ha）

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
計	613	716	594	741	722	775

農林水産省「遊休農地に関する措置の状況に関する調査」